



佐藤さんのブルーベリー



品種による味の違いからどの粒が美味しいかなどその知識と経験を活かして1粒ずつ収穫します。



広大な敷地には450本ぐらいの木が育っています。昔の品種や接ぎ木など20年の歴史を感じます。



完熟しているかどうかを見極めて、1粒1粒、丁寧に収穫して出荷をしています。

★20年の知識と経験を1粒に

ブルーベリー（500g）を出荷している佐藤さんは、栽培歴20年の大ベテランです。

「私が始めた頃はまだ誰もやっている人がいなかったのよ。でもその後にブームが来て色々な人が作り方を聞きに来たのよ。でも大変だからほとんど辞めちゃったわね」ブルーベリーは収穫が楽でお金にもなると、一時期作る人がたくさん増えたのですが、夏場の暑い時期に収穫だけでも目が回るぐらい忙しく、さらに土作り、虫対策、草取り、剪定など手間がかかるため、ブームで参入した人の多くは結局止めてしまったのです。

そんな中、長年ブルーベリーを作り続けてきた佐藤さんの栽培の特徴の1つは、広大な敷地を全てネットで囲っていること。「ヒヨ鳥が実だけでなく花芽も食べに来るのよ。だから最初は全部自分で杭を打ってネットを張ったのよ。その後、うちの主人が敷地を3倍ぐらいの今の大きさに拡張したのよ。こんなに1人で出来ないと思ったんだけどね」というほどの広さです。そのため受粉にはミツバチに活躍してもらいます。しかし、その他は全て手作業。時々、お手伝いさんに来てもらうこともあります。草をとったり今年は大発生したカガムシをとったり、忙しい日は朝から晩まで働き通しです。また収穫時は1粒1粒、完熟しているかを確認します。「果梗（へた）のところを見ると熟しているかわかるの。同じ木でも1粒1粒甘さが違うのよね」長年の経験で培われた知識と目で1粒1粒美味しく完熟している粒だけを収穫している佐藤さんのブルーベリー、是非ご堪能下さい。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎ブルーベリーは8月中旬過ぎぐらいまで出荷の予定です。